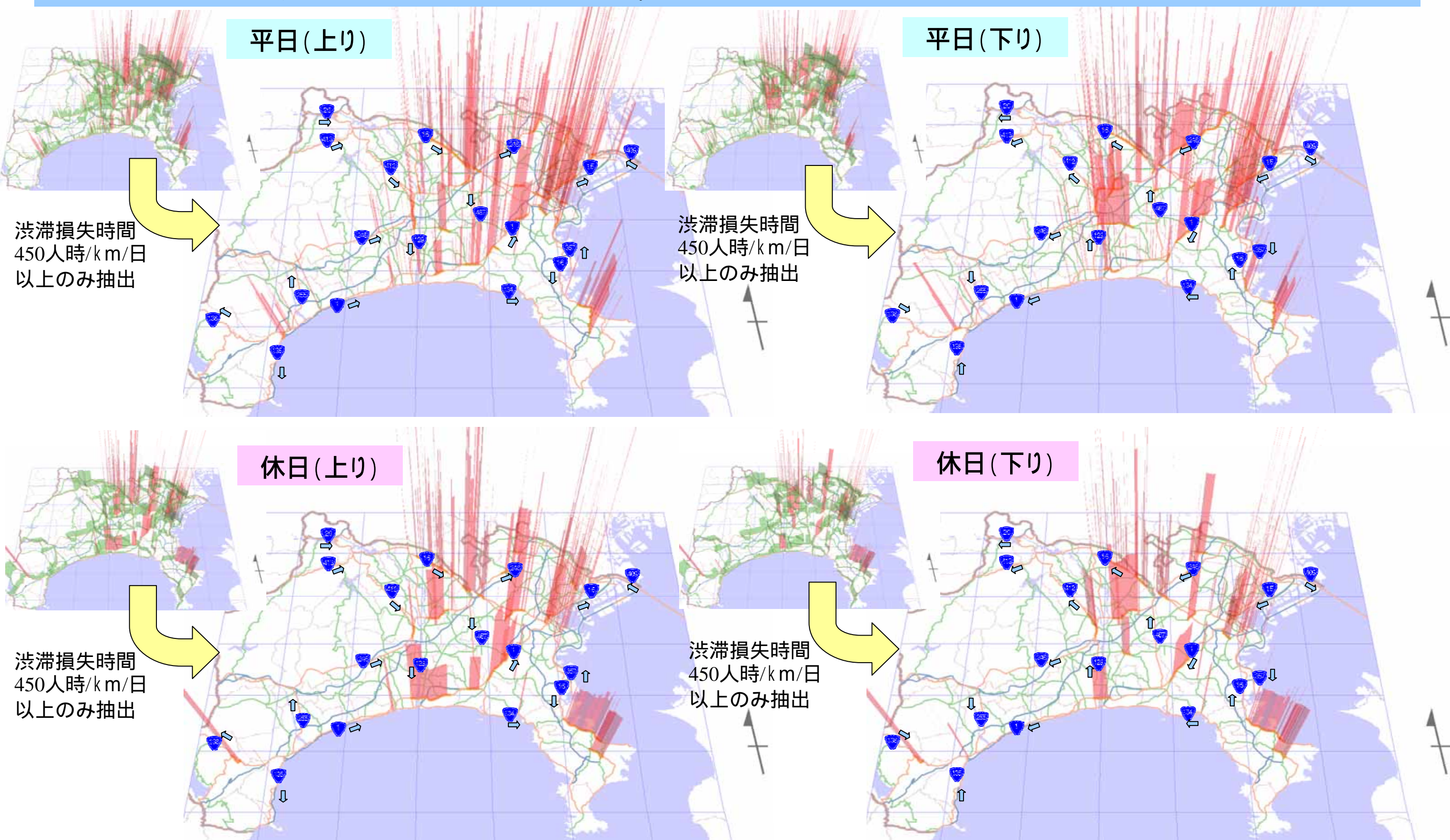


分析対象エリアの抽出について (1) 渋滞損失時間

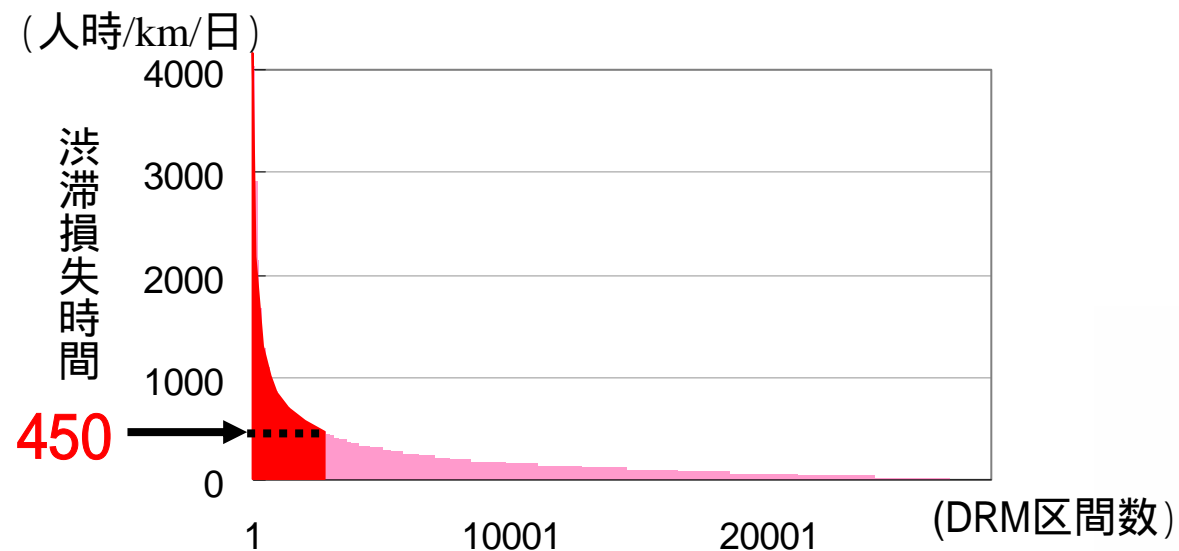
平日・休日共に縦断方向(国道1・15・246号など)の渋滞損失時間の大きい区間が多く、方向別では上り方向の渋滞損失時間が大きい区間が多い。



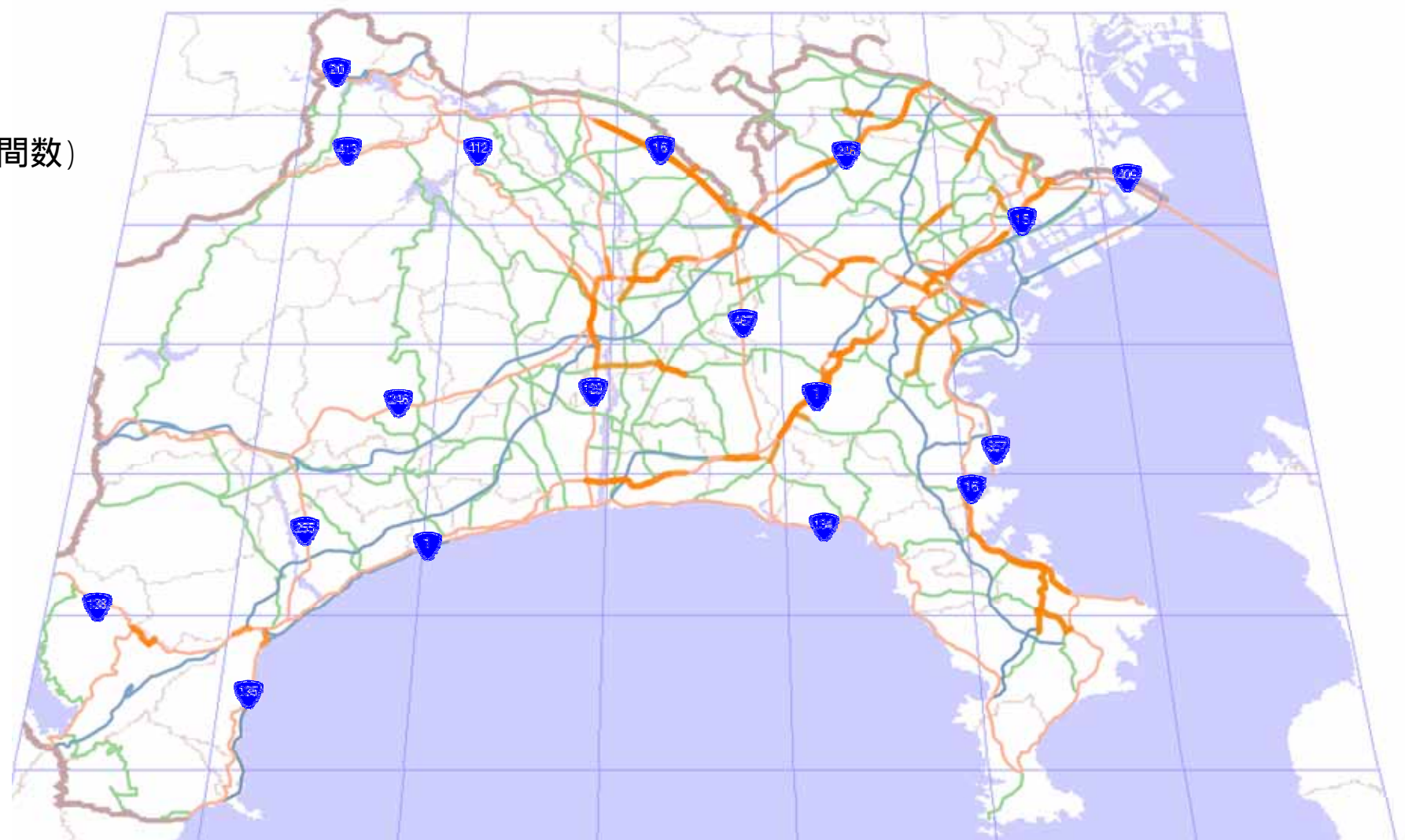
分析対象エリアの抽出について（2）渋滞損失時間

平日・休日、上り・下りの全ケースを合わせて抽出すると、
渋滞損失時間は国道1・15・246号の縦断方向と国道16号の横断方向で大きい。

渋滞損失時間の分布(平日・休日・上り・下り)



渋滞損失時間で抽出された箇所



平日・休日・上り・下りすべての渋滞損失時間から
全体の上位約1割にあたる
渋滞損失時間=450人時/km/日
以上の区間のみ抽出
(平成16年度プローブデータによる)

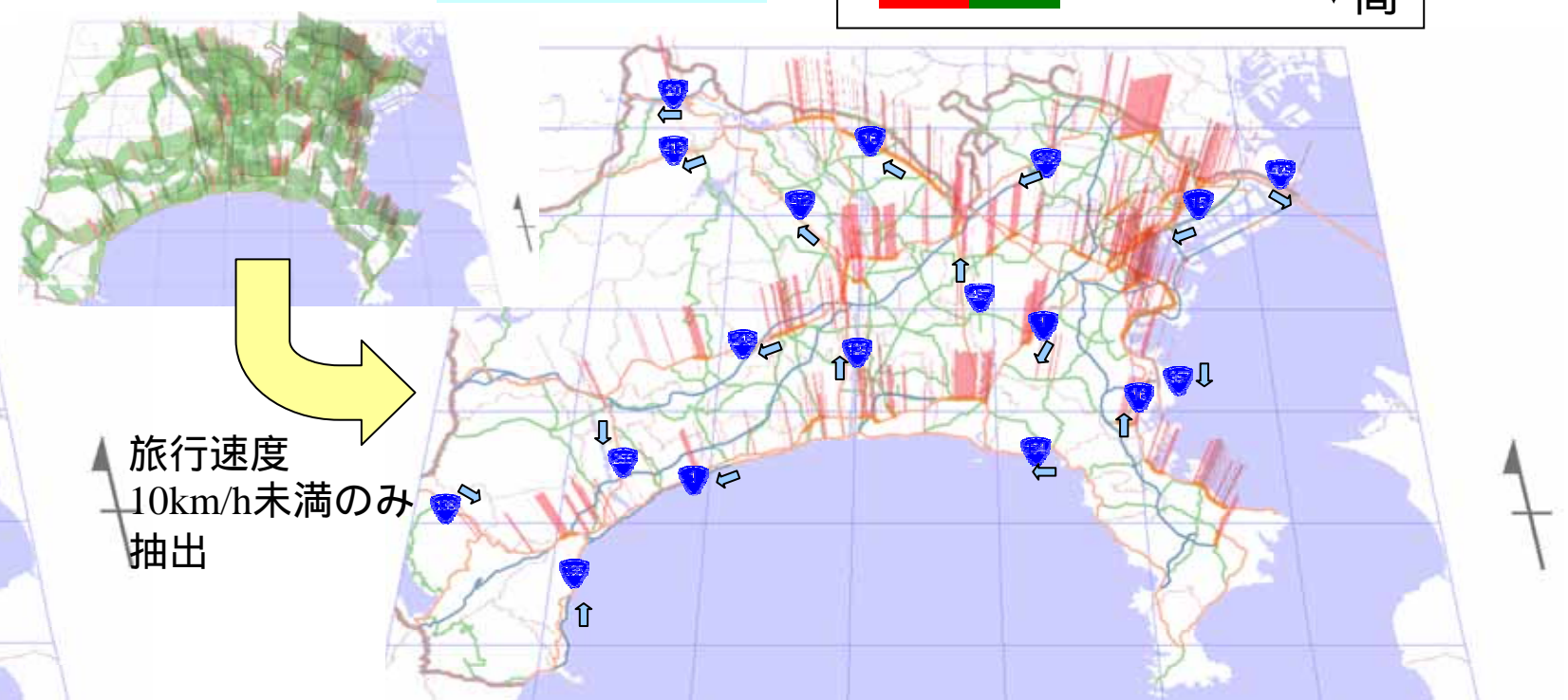
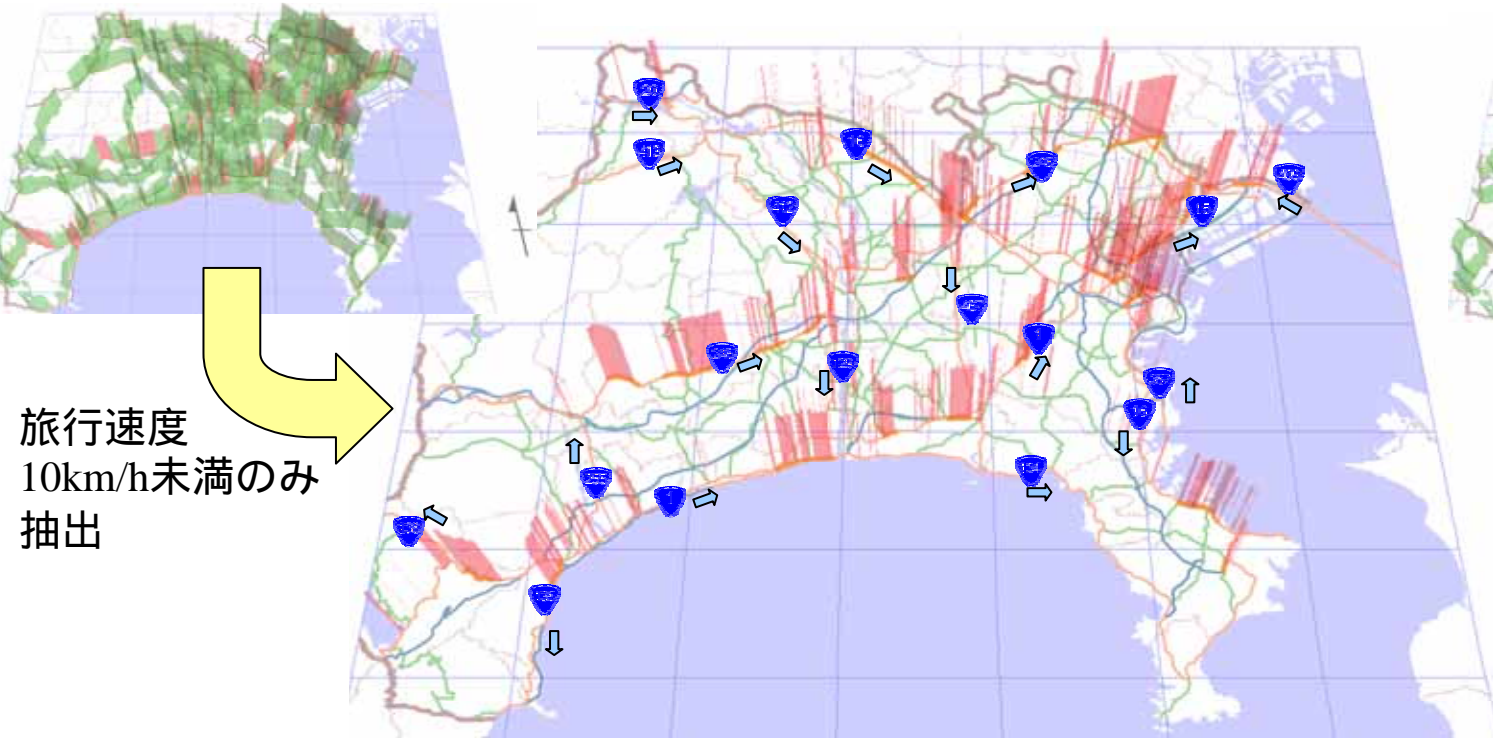
分析対象エリアの抽出について (3) 旅行速度

平日・休日共には縦断方向(国道1・15・246号など)の旅行速度の低い区間が多く、方向別では上り方向が全般的に旅行速度が低い区間が多い。



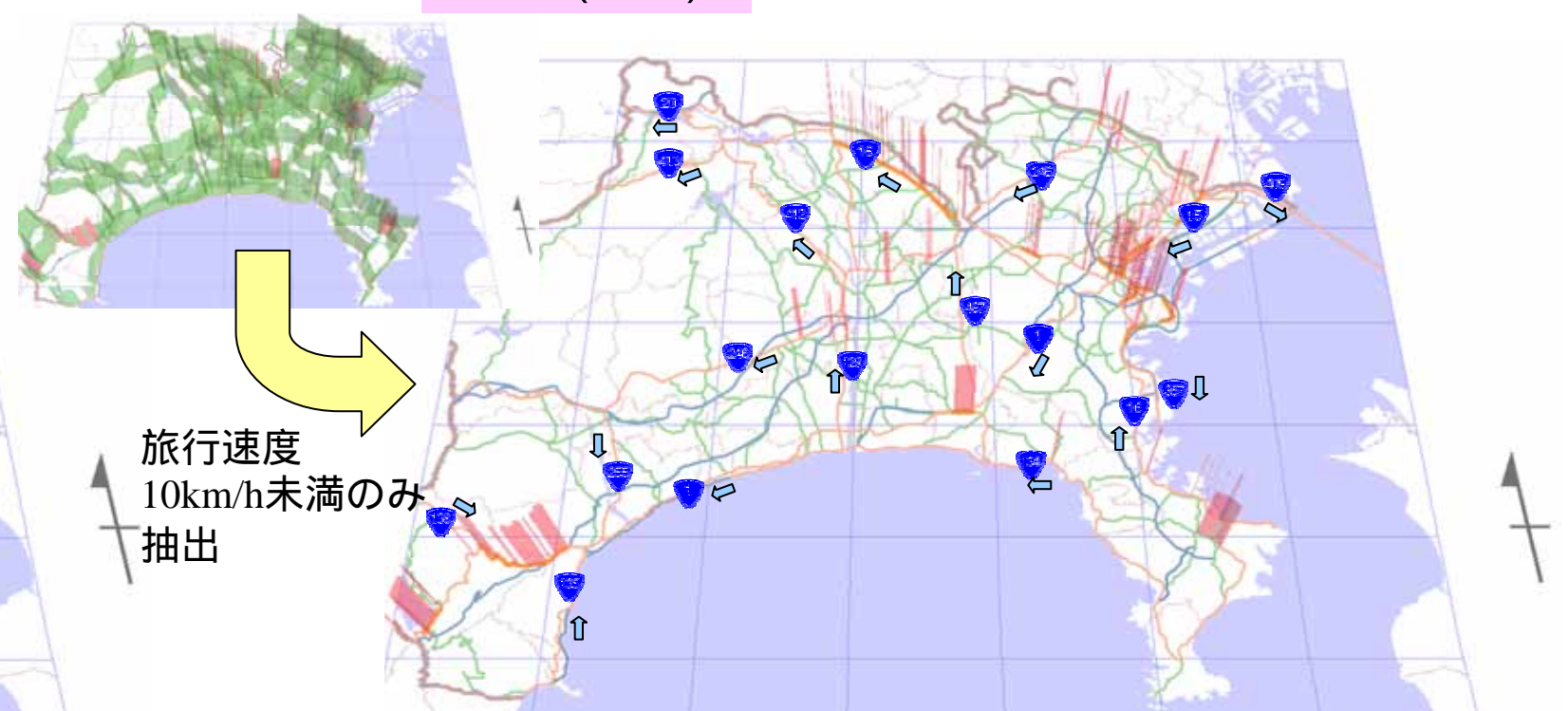
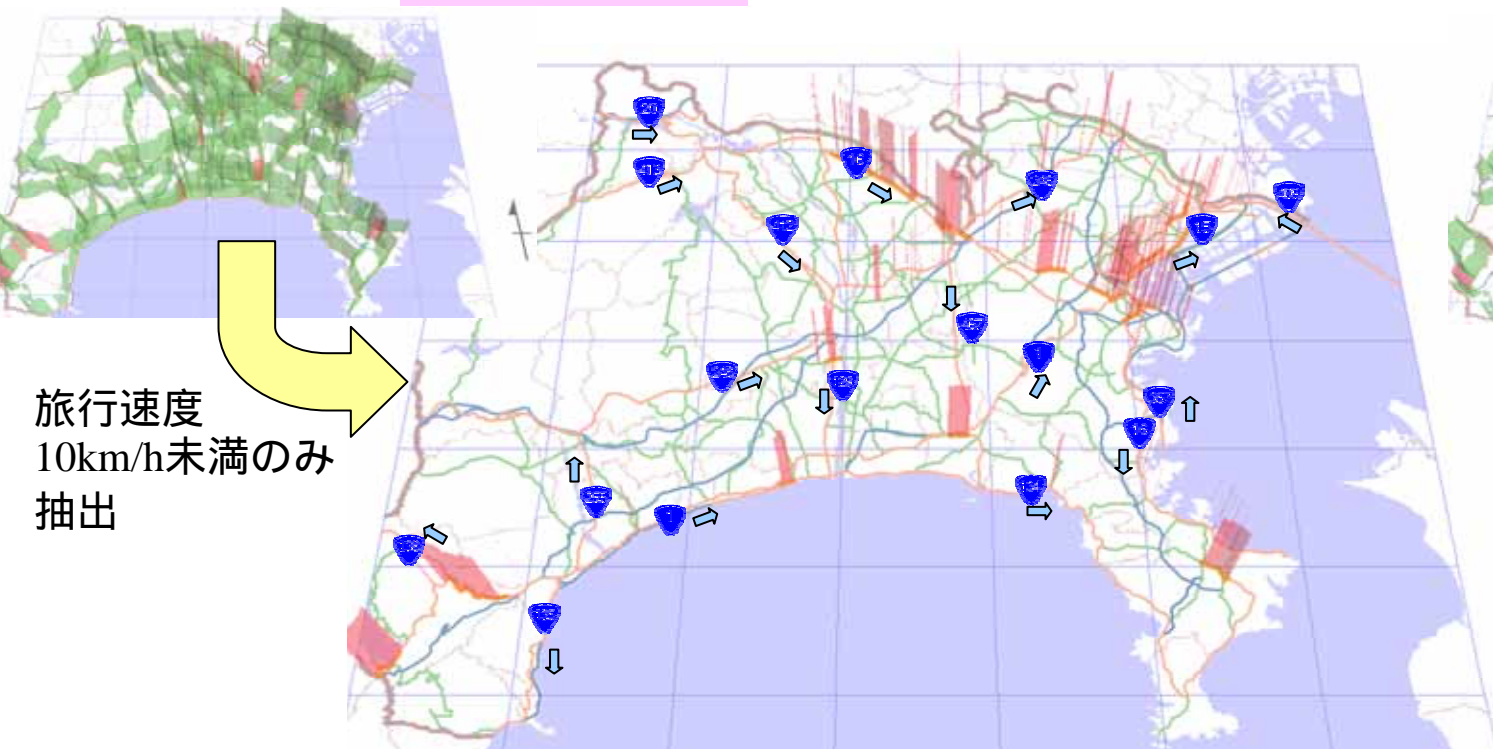
平日(上り)

平日(下り)



休日(上り)

休日(下り)



分析対象エリアの抽出について（４）旅行速度

平日・休日、上り・下りの全ケースを合わせて抽出すると、
旅行速度は国道1・15・246号の縦断方向と国道16号の横断方向で低くなっている。

平日(上り)



平日(下り)



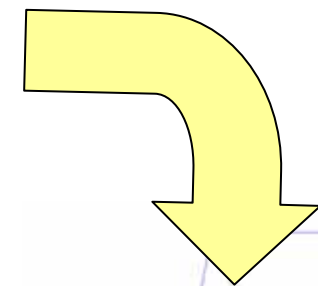
休日(上り)



休日(下り)



平日・休日・上り・下りの全ケースで
ピーク時の旅行速度が10km未満の区間をすべて抽出
(平成16年度プローブデータによる)

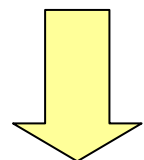


- 渋滞損失時間で抽出された箇所
- 旅行速度で抽出された箇所



VICS渋滞時間

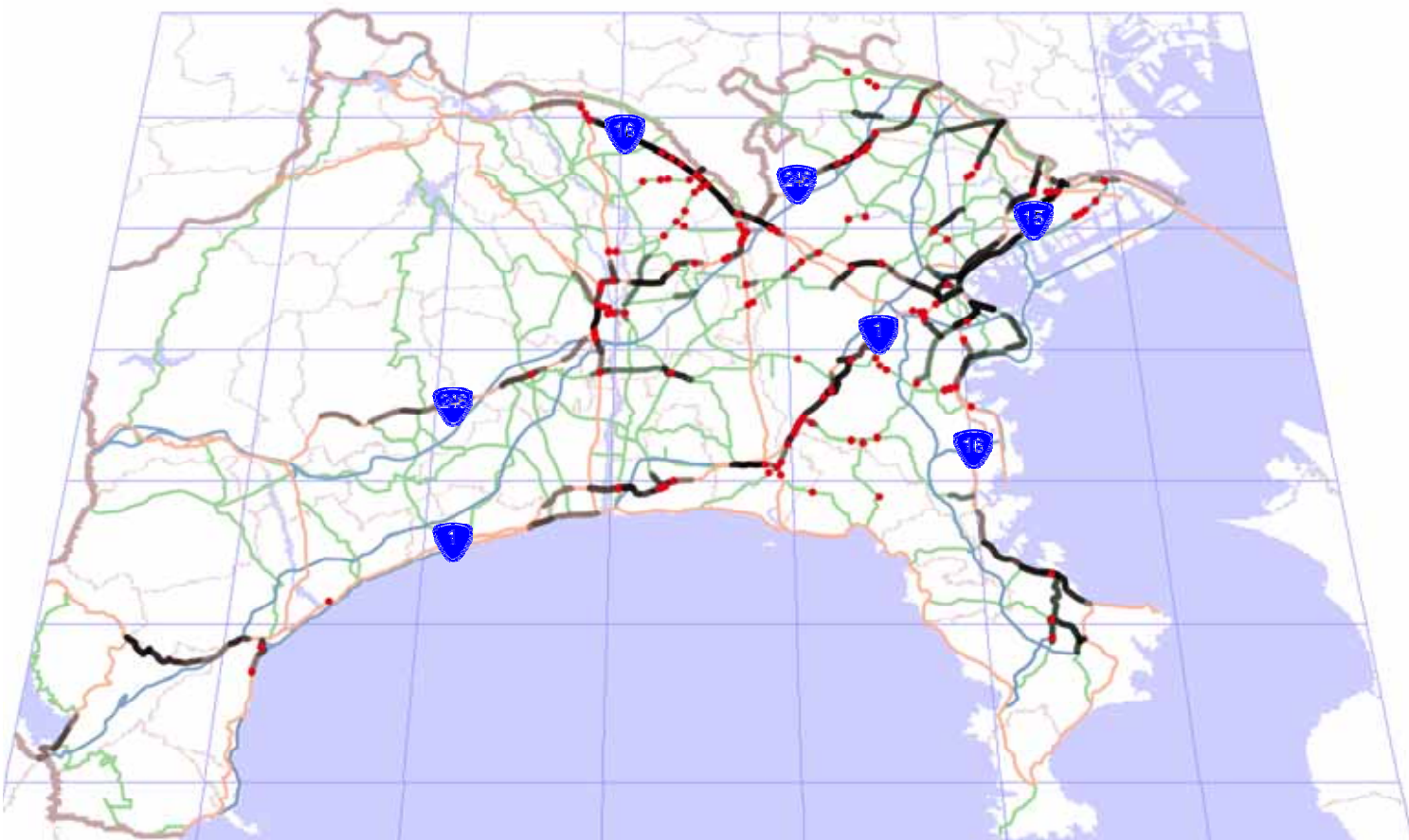
VICS渋滞時間が1,000分/日以上の箇所のみ抽出



VICSデータ
平成16年9月12日(日)～18日(土)の日平均渋滞時間の集計値

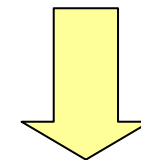
VICSデータによる渋滞時間が1,000分/日以上の地点は、渋滞損失時間と同様の傾向(国道1・15・246号の縦断方向と国道16号の横断方向で大きい)である。

- これまでに抽出されている箇所
- VICSで抽出された箇所



利用者の声

渋滞がひどいとの意見があった地点を抽出



参考資料
・横浜環状北西線PIでいただいたご意見(平成15～17年 横浜国道)
・ヨコハマの道路に関する意識調査業務報告書(平成17年 横浜市)

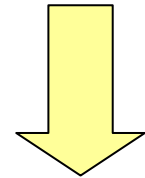
渋滞がひどいとの意見があった地点は、渋滞損失時間など、おおむね同様の傾向(国道1・15・246号の縦断方向と国道16号の横断方向に多い)である。

- ● これまでに抽出されている箇所
- ● 利用者の声で抽出された箇所



主要渋滞ポイント

主要渋滞ポイントの定義該当する地点を抽出

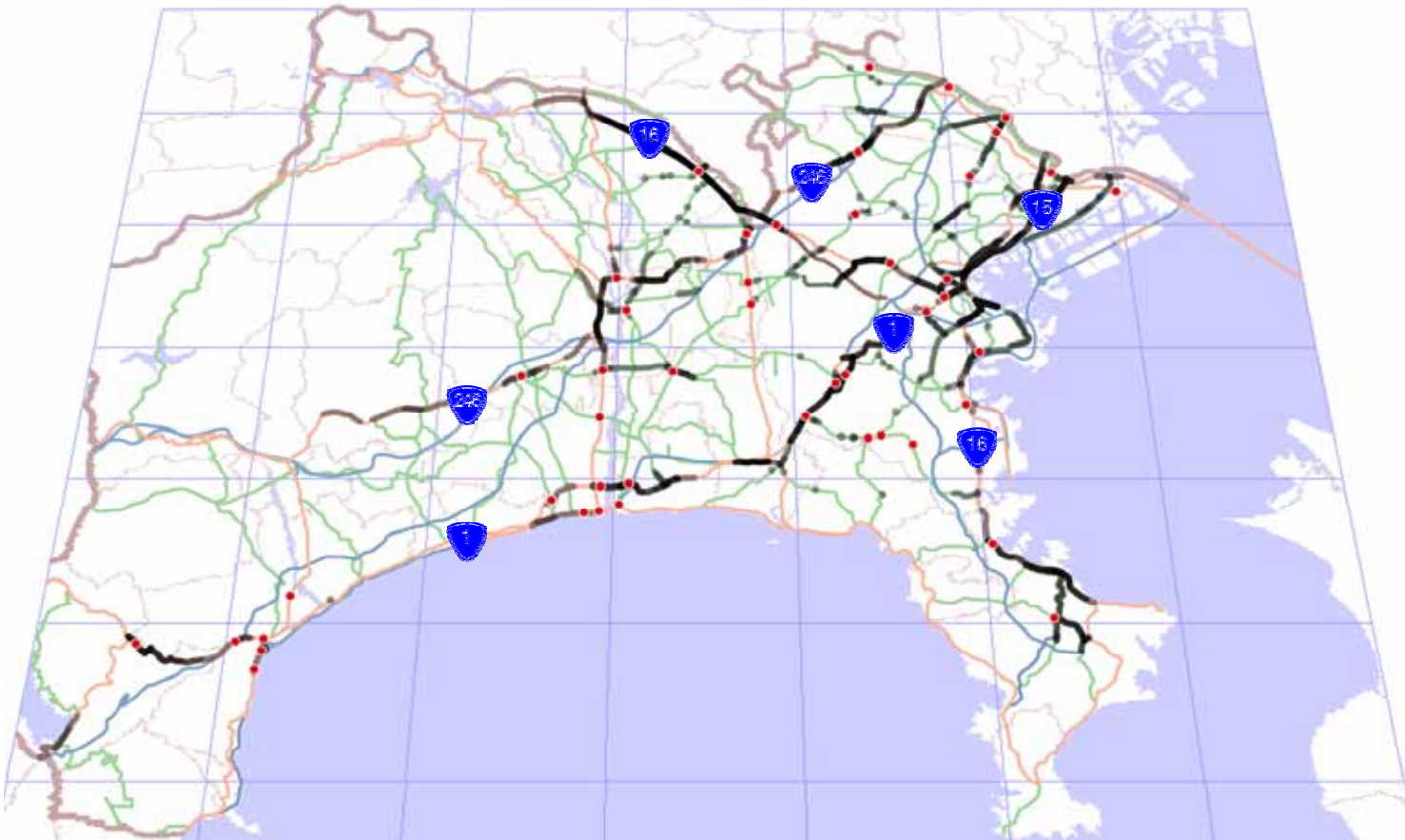


主要渋滞ポイントの定義

- ・DID地区内： 最大渋滞長 500m以上
or 最大通過時間 5分以上
- ・DID地区外： 最大渋滞長1,000m以上
or 最大通過時間10分以上

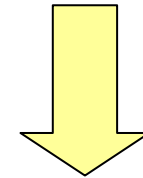
主要渋滞ポイントでは、渋滞損失時間などこれまで抽出した区間に対して、その周辺にも点在している。

- ● これまでに抽出されている箇所
- 主要渋滞ポイントで抽出された箇所



走行しづらい道路構造

走行しづらい道路構造の地点を抽出

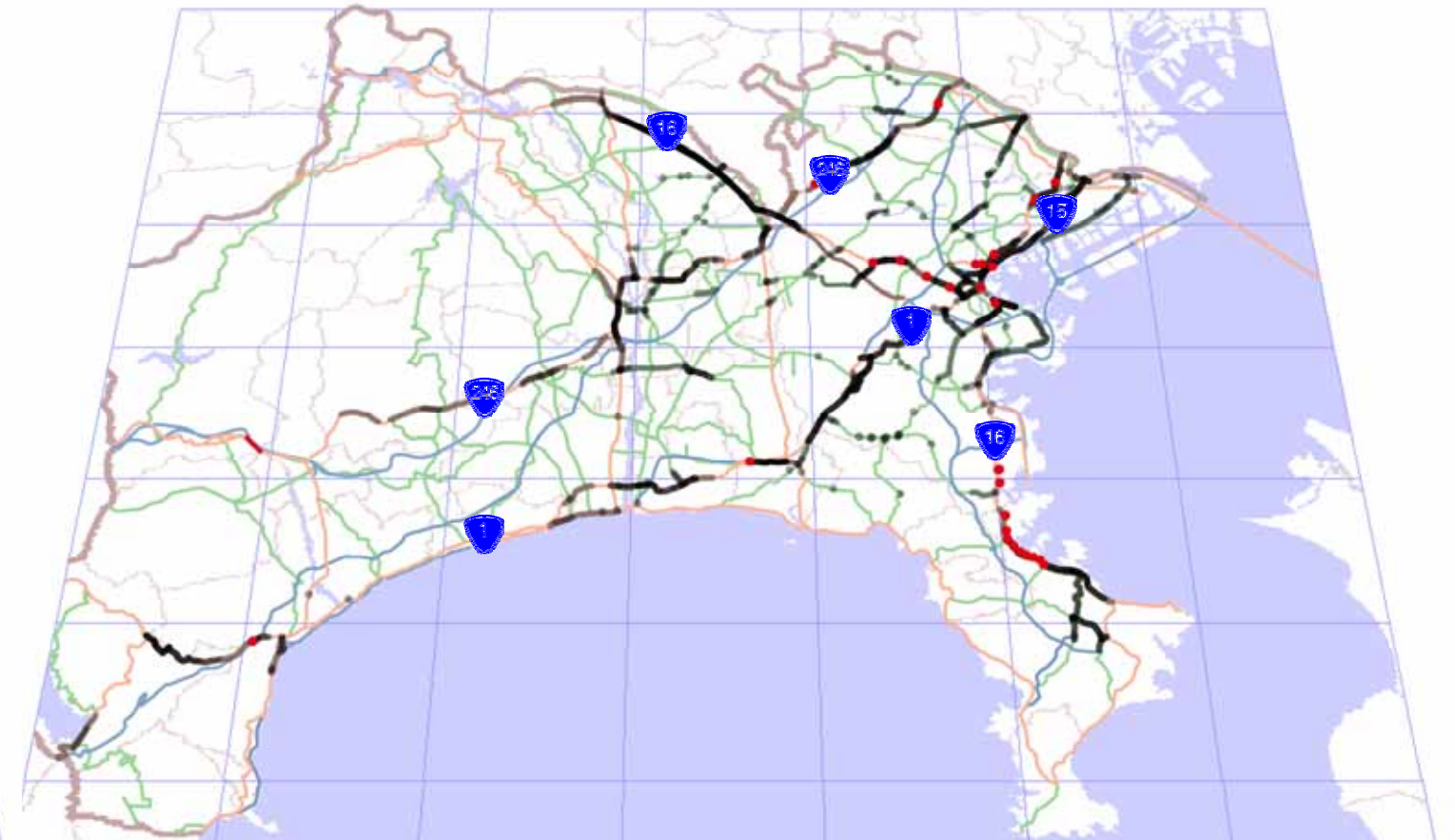


走行しづらい道路構造の地点の条件

- ・道路が屈曲している
- ・曲線部に交差点がある
- ・車線数の増減が複雑
- ・その他(直轄国道で高さ制限がある)など

道路構造についてもこれまでの抽出結果の範囲にほぼ網羅されており、渋滞と道路構造(走りづらい箇所)は関連性が強いことが伺える。

- ● これまでに抽出されている箇所
- 走りづらい道路構造で抽出された箇所



分析対象エリアの抽出について (7) 気象・自然

異常気象による事前通行規制および特殊通行規制のうち、通行止回数が平均1回/年以上(過去3年間)発生し、かつ交通量が14,000台/日(神奈川県内の地方道平均交通量)以上の区間を抽出

異常気象時事前通行規制区間: 連続雨量が規制基準値を超えると規制される区間

特殊通行規制区間: パトロール等により危険が予想される区間

国道20号

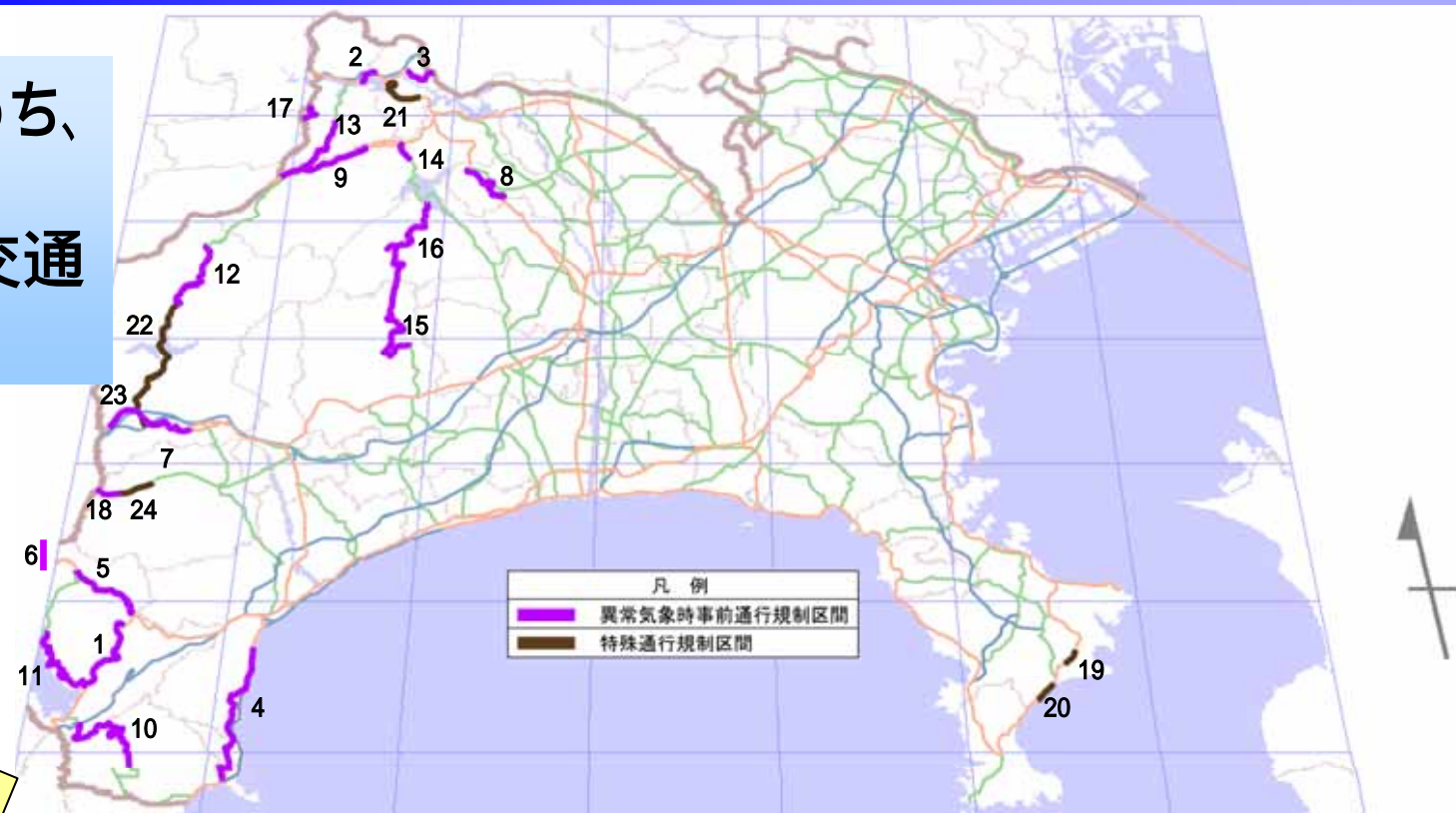
区間: 津久井郡相模湖町与瀬 ~ 津久井郡藤野町吉野 (L = 1.5 km)

日交通量: 19,261台/日(H11センサス)

通行規制条件: 連続雨量150mm以上

規制回数: 平成14年2回、平成15年2回、平成16年2回

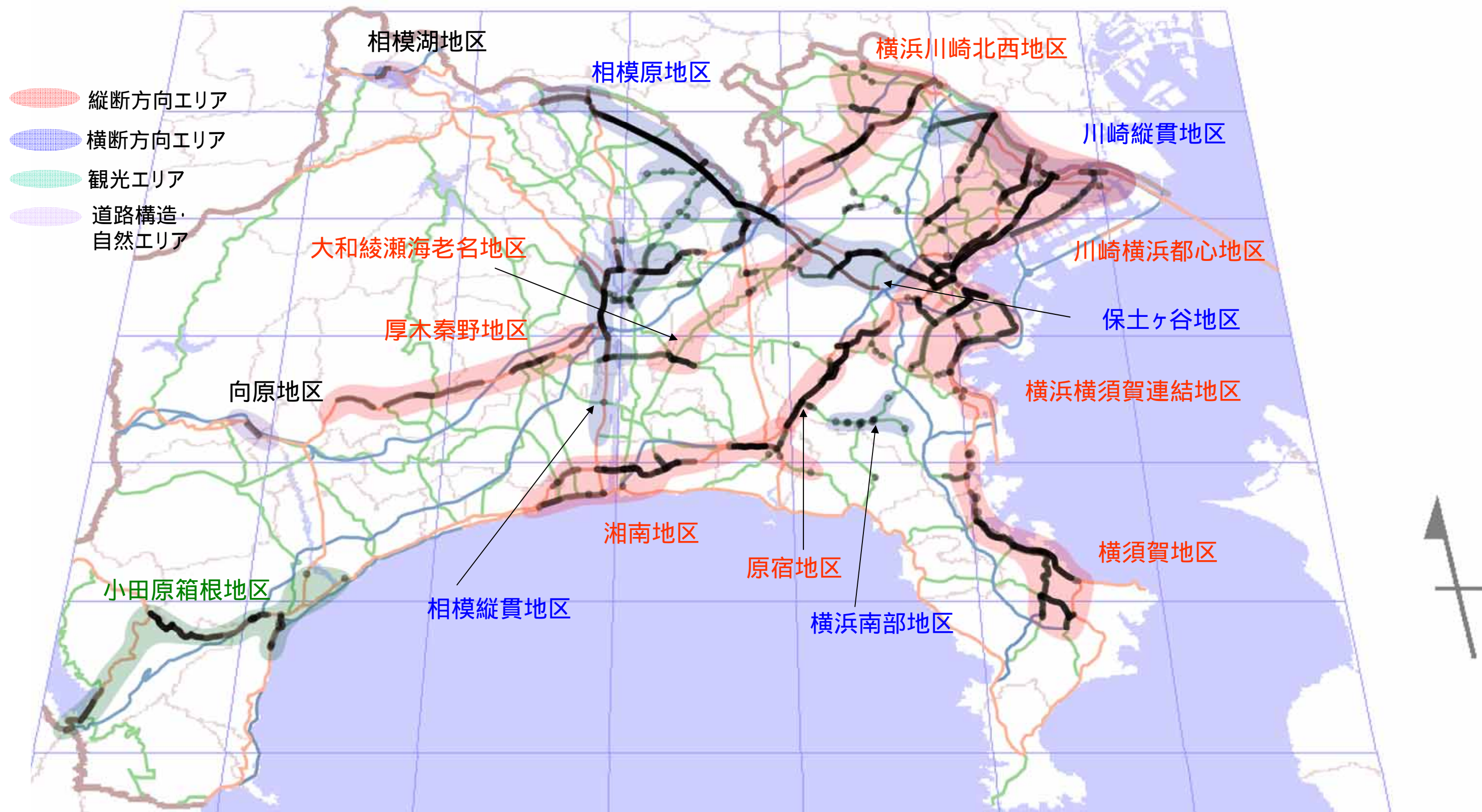
規制時間(平均): 平成14年6.4時間、平成15年6.8時間、平成16年8.4時間



	路線名	規制区間	交通量 (台/日)	過去3年間(H14~H16)	
				平均規制回数 (回/年)	最大規制時間 (時間/年)
異常気象時事前通行規制区間	1 国道1号	足柄下郡箱根町	3,397	2.3	30.7
	2 国道20号	津久井郡相模湖町 ~ 津久井郡藤野町	19,261	2.0	16.8
	3 国道20号	東京都八王子市南浅川町 ~ 津久井郡相模湖町	8,898	1.7	28.5
	4 国道135号	足柄下郡湯河原町 ~ 小田原市石橋	6,358	0.7	3.0
	5 国道138号	足柄下郡箱根町	11,402	2.0	22.1
	6 国道138号	足柄下郡箱根町	7,465	2.7	22.1
	7 国道246号	足柄上郡山北町	468	1.0	13.3
	8 国道412号	愛甲郡愛川町	12,149	1.7	14.0
	9 国道413号	津久井郡津久井町	4,586	2.7	45.7
	10 湯河原箱根千石原線	足柄下郡湯河原町 ~ 足柄下郡箱根町	773	2.3	33.4
	11 湯河原箱根千石原線	足柄下郡箱根町	4,064	2.3	30.4
	12 山北藤野線	足柄上郡山北町		0.7	13.3
	13 山北藤野線	津久井郡津久井町 ~ 足柄下郡藤野町	839	2.0	47.8
	14 伊勢原津久井線	津久井郡津久井町	3,694	2.7	46.6
	15 泰野清川線	泰野市蓑毛 ~ 泰野市寺山	1,972	9.3	190.2
	16 泰野清川線	愛甲郡清川村	1,972	7.3	154.7
	17 四日市上野原線	津久井郡藤野町	1,806	1.7	39.3
	18 御殿場大井線	南足柄市矢倉沢	1,434	3.0	63.6
特殊通行規制区間	19 国道134号	横須賀市久里浜 ~ 横須賀市野比	12,853	0.0	0.0
	20 国道134号	横須賀市野比 ~ 横須賀市津久井	12,853	0.0	0.0
	21 国道412号	津久井郡相模湖町	10,978	0.3	10.5
	22 山北藤野線	足柄上郡山北町	1,481	0.0	0.0
	23 山北藤野線	足柄上郡山北町	3,254	0.0	0.0
	24 御殿場大井線	南足柄市矢倉沢	1,434	0.3	9.5

分析対象エリアの抽出について（8）

要因別の指標で抽出した神奈川県内の障害箇所は、おおむね以下のような分析対象エリアに分けることができる



分析対象エリアの抽出について（9）

番号	エリア名	エリアの概要
	川崎横浜都心地区	川崎市と横浜市を結ぶ国道1号、15号を中心とした交通需要の多いエリア。渋滞損失が大きく、旅行速度の低い区間が点在する。
	横浜横須賀連結地区	国道16号、国道357号を中心とした横浜市中心部から南部と横須賀市を結ぶエリア。湾岸部の旅行速度が低い。
	横須賀地区	渋滞損失が大きい横須賀市内の国道16号を中心としたエリア。国道16号では高さ制限のある走行性が悪いトンネルが連続する区間も存在する。
	原宿地区	国道1号へ交通が集中する県内有数の渋滞ポイント「原宿交差点」を中心としたエリア。渋滞損失の大きい区間、旅行速度の低い区間が連続している。
	湘南地区	相模川渡河部などを中心に渋滞損失が大きく、旅行速度の低い区間が点在する国道1号、134号が併走する湘南海岸沿いのエリア。
	横浜川崎市北西地区	横浜・川崎市北西部における国道246号を中心としたエリア。渋滞損失が高く旅行速度も低い。
	大和綾瀬海老名地区	大和市・綾瀬市・海老名市を縦断する中原街道(丸子中山茅ヶ崎線)を中心としたエリア。茅ヶ崎方面と県北東部を結ぶ交通が多く、渋滞ポイントが多数存在する。
	厚木秦野地区	秦野市と厚木市を結ぶ国道246号を中心としたエリア。交通需要は多く、全体的に旅行速度が低い。
	川崎縦貫地区	川崎市湾岸部と内陸部を結ぶ国道409号を中心としたエリア。交通量の多い国道1・15号との交差や鉄道との平面交差など多数存在するため旅行速度が低い。
	保土ヶ谷地区	横浜市北西部と横浜都心・湾岸エリアを結ぶ幹線道路が少なく、国道16号、保土ヶ谷バイパスに交通が集中するため、渋滞損失が高く、旅行速度が低いエリア。保土ヶ谷バイパスなど全線で渋滞がひどいとの声も多い。
	相模原地区	横浜市と東京西部を結ぶ路線が少ないため、国道16号へ交通が集中し、断続的に渋滞が発生しているエリア。渋滞損失が大きく、旅行速度が低い区間が点在している。
	相模縦貫地区	相模湾岸部と内陸部を結ぶ国道129号を中心としたエリア。国道246号と国道129号の重複区間があり、他の幹線道路も集中することや相模川渡河部に交通が集中するため、渋滞損失が高く、旅行速度が低い。
	横浜南部地区	横浜市南部を横断し、国道1号と16号を結ぶ原宿六浦線を中心に渋滞ポイントが連続するエリア。
	小田原箱根地区	日本有数の観光地「箱根」への交通が集中するエリア。特に休日の渋滞損失が高く、旅行速度が低い。
	向原地区	県西部の山間地で河川等に挟まれた線形が悪く、歩道幅員の狭いエリア。
	相模湖地区	相模湖周辺の国道20号で降雨により通行が事前規制されるエリア。交通量も多く、通行止めの影響は大きい。

規制速度

参考資料

